

設問C4-1-(3) (様々な活動を通して神が望んでおられる社会を築いていくように努める) に対する「その他」の具体的な回答

番号	回答内容
1	バザーを通しての交流、困っている人への支援
2	4年ぶりにバザーを実施し、教会外の方や外国から来られた方も交流し、収益の中から、現在、困難に直面している人々への支援ができた。
3	寄付
4	弱い立場に置かれている人に寄り添い、行動したい。
5	信者でない方に教会のお話しをときどきする。
6	カトリック新聞、朝日新聞を通読している。
7	グループの集まりで、体験談を通じて互いを助け合っている。
8	社会における信徒としての使命を意識するように、司祭として努める。
9	教会に来ていない子ども(親が日曜日に仕事)、教会学校の学びをしたい子どもに土曜日学びの会をつくった。
10	修道会のカリスマに沿って、ミッションの場を広げ、チャレンジしている。
11	平和旬間にお手伝いを申し出たときに、信徒協の方に断られた。教会で、祝賀会等を行うとき、ごみの分別をしっかりとってきた。
12	これまでと特に変化なし。
13	作文を書いた。
14	おにぎりの会への参加(教会として) 子どもに作文を書かせた。(平和旬間)
15	日々、目の前に与えられる人や状況の必要は、神様から与えられたものと考えて、できるだけ忠実に、小さなことでも応える努力をしている。
16	今はあまり活動できていない。
17	日々の生活が精いっぱい。
18	民生委員を3年間務めました。時間のあるときは、ボランティアにも参加しようと努力している。
19	取り組めていない。
20	家庭の都合で食事が行き届いていない人達への食事の提供
21	<ul style="list-style-type: none"> ・フクシマ訴訟活動 ・みのしまおにぎりの会寄る尾配付 ・水保フォーラム参加 ・お年寄りの教会への送迎
22	まずは、自分のエリを正していきたい。
23	何もしていない。
24	募金活動に参加予定
25	保育の仲間に聖書を伝えている。
26	コロナ以前、ホームレスお弁当作り等に参加していました。町内で、役の中で活動しています。
27	仕事(行政関係)に取り組んだ。
28	SDG'sの達成、真のジェンダー平等に向けて活動している。クラブに所属している。
29	ミサ後、触れ合い広場として、親睦、コミュニケーション対話など(10時ミサ後) ・お知らせ、お願いにて皆様に話している。
30	買い物や病院の送迎
31	社会的な活動はしていないが、内向きではあるが、出来ることはするようにしている。

番号	回答内容
32	炊き出しを教会のグループで共に参加できた。
33	近隣の方々に教会のイベント参加を呼び掛ける
34	現役を退いて以後、社会とのつながりが少なくなりました。問題に取組み、ボランティア活動などしていないこのごろです。
35	体の不自由な方や病気の方々のために祈った。
36	自分自身を教会に向けることで精いっぱいです。
37	今の時代、様々な事件の中であって、神はどこにおられるのかと思えてきます。神が私をどのように使ってくれるのか、捧げたいと思っています。
38	提供されている項目が自分に当てはまらない。
39	一定期間、ボランティアに参加した。
40	ALBAの会、力諸連
41	教会又は個人として、子ども食堂への助けとなる活動、具体的には、寄付や食材の提供
42	全盲の一人の人の存在とその方への私たちの関わりによって、信仰に導かれて、闇の中への光を体験させてくれている。 カトリック身障者連絡協議会の長崎全国大会に小教区から初めて参加することによって、小教区の中全体に、弱者に対する意識が高まってきた。 視覚障がい者のグループ「アルバの会」の協力者として、微力ながら働く機会をいただいた。
43	昔からそうしています。子供時から自然と。
44	弱い立場に置かれている人々に寄り添い、行動したいとは思ってはいるが、まだできていない。
45	献金
46	幼い子供連れの人に拘わり、落ち着いてミサに参加できるように応援しています。
47	教会の病人の世話
48	高齢でもあり、人々のために取り組むことができず、残念である。
49	毎日の保育の中で、子どもたちと祈りと神様の教えを伝えあっている。
50	近所の一人暮らしの方にとときどき夕食を持って行っている。
51	職場、社会の中で、信仰に基づいた態度、行いをする。
52	まず、自分の身近にいる人々に、キリストのいつくしみ、望んでおられる義と平和を実践するように努めている。
53	2008年の初誓願宣立を機に、正平協の死刑委に入れて頂き、日本はじめ死刑存置国が廃止に踏み出せるよう、祈りと犠牲をささげさせていただいています。
54	共同体の姉妹と祈っています。
55	関わっている子供たちが良い社会人として成長するよう、生活の支援に務めている。
56	ミサへの参加
57	ボランティアやチャリティをしている方（知人や著名人）を支援した
58	SNSで社会問題の情報を発信している
59	ピース9の会に所属しているものとして、木村公一牧師の講演会「ウクライナ報告戦争と人間の安全保障」ダニーネフセタイ氏講演会「戦争を止めるために今考えること」
60	メンバー各人は教会外での活動に参加することが多いです。
61	ピース9の会自体のあり方を通して